

屋根工事マン

～てっぺんを守り続ける男～

本名：屋敷（やしき） ひさし

出身地：山梨県南都留郡忍野村（おしのむら）

#7

生まれた瞬間から高いところ好き。

赤ちゃんの頃、ベビーベッドの柵をよじ登ろうとして叱られたという伝説が残る。小学生になると、なぜか友達の家屋根の形を全部覚えている少年に成長。

「佐藤んちは切妻、鈴木んちは寄棟」

誰にも頼まれていないのに実況解説を始め、若干引かれる。

転機は台風の日。

屋根がバタバタ鳴る音にワクワクして外に出ようとし、家族総出で止められるが、屋根に上り、一夜をかけ破損部分の修繕を一人で行う。この頃からもう素質は十分だった。高校卒業後、屋根工事の世界へ。初日は高所恐怖症の先輩を励ましながら、自分はスイスイ屋根を歩くという謎の逆転現象が発生。夏は「屋根、フライパン説」を唱えながら作業し、冬は強風に対し、徹底した安全対策を講じる。仕事は超一流。

雨漏りはピタッと止め、台風後の屋根は見ただけで原因を言い当てこうして屋根工事マンは、現場の“てっぺん”を守り続けている。

